

資料 1

障害福祉に関する意識調査 (身体障害のある人)

障害福祉に関する意識調査

2014年10月

調査へのご協力をお願い

1. この調査は、障害のある人びとの生活全般の向上をめざし、安心して暮らせる福祉社会の実現に向けての基礎資料とするために、白山市と金沢大学「障害と医療・福祉」研究会が共同で実施するものです。調査の目的をご理解いただき、率直なご意見をご記入いただきますようお願いいたします。
2. この調査は、あなたさまをはじめ、市内にお住まいの障害者に関する手帳をお持ちの方々から、くじ引きに似た方法（無作為抽出法）で1500名を選ばせていただきました。
3. 回答は、**封筒の宛名のご本人**が記入してください。**ご本人が記入できない場合は、ご本人のお考えをご家族などどなたかに代筆していただくか、ご本人の立場に立ってご回答ください。**
4. この調査は無記名ですので、どなたが回答したか特定されることはございません。みなさま方個人および、ご家族の方々のことが外部にもれることは絶対にありません。また、この調査票で得られたデータは、白山市の福祉行政を実現する施策づくりおよび大学での研究目的以外には使用いたしません。
5. ご記入いただきましたら、**10月14日（火）**までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。※切手は不要です。封筒裏面に差出人のお名前を記入する必要もありません。
6. 以上の点をご理解いただき、なにとぞご協力をお願いいたします。この調査に関するご質問がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【実施責任者】

白山市健康福祉部障害福祉課
金沢大学「障害と医療・福祉」研究会

【問い合わせ先】

白山市健康福祉部障害福祉課

T e l : 0 7 6 - 2 7 4 - 9 5 2 6

F a x : 0 7 6 - 2 7 5 - 2 2 1 1

調査票記入上の注意事項

◎ご記入は、黒または青色のボールペン・ペン・鉛筆をお願いいたします。

◎回答のしかた

- （1）ほとんどの質問は、あてはまるものの番号（**123・・・の数字**）を**○印**でかこんで、お答えください。
- （2）いくつかの質問には、枠内に文字・数字を直接ご記入ください。
- （3）答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。

■まず、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ご本人が記入 | 3. ご家族がご本人に代わって回答 |
| 2. ご家族が代筆 | 4. その他 () |

問2 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------|
| 1. 松任 |
| 2. 美川 |
| 3. 鶴来 |
| 4. 河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰 |

問4 あなたの年齢は何歳ですか。〔2014（平成26）年10月1日現在でお答えください〕

満

--	--

 歳

問5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

--	--

 人家族

問6 あなたが同居されているご家族を、つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。ただし、亡くなっているかたは除いてください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. 配偶者の父母 | 9. 配偶者の祖父母 |
| 2. 子ども | 6. 自分の兄弟姉妹 | 10. 孫 |
| 3. 子どもの配偶者 | 7. 配偶者の兄弟姉妹 | 11. その他 |
| 4. 自分の父母 | 8. 自分の祖父母 | 12. あてはまる人はいない |

問7 あなたのお住まいについてお尋ねします。

（1） 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て住宅） | 4. グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム |
| 2. 持ち家（集合住宅〔マンションなど〕） | 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション |
| 3. 市営・県営などの公営賃貸住宅 | 6. その他（具体的に： ） |

(2) 【問9(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】では、療育手帳の判定は、つぎのいずれですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. A

2. B 1

3. B 2

問10 (1) あなたは、身体障害者手帳のほかに、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問10(2)へ

2. 持っていない⇒問11へ

(2) 【問10(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】では、精神障害者保健福祉手帳の等級は、何級ですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1級

2. 2級

3. 3級

問11 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

問12 あなたは発達障害（自閉症、学習障害など）の診断を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

問13 障害支援区分についてお聞きします。

(1) あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

1. 受けている⇒問13(2)へ

2. 受けていない⇒問14へ

(2) 【問13(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】その障害支援区分は、つぎのどれにあたりますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 区分1

5. 区分5

2. 区分2

6. 区分6

3. 区分3

7. わからない

4. 区分4

■あなたの収入の状況についてお聞きします。

問14 あなたは何により生活費を得ていますか。つぎの1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め先の給与や賃金

5. 事業収入（自営業など）

9. 特別障害者手当

2. 通所施設・作業所などの工賃

6. 財産収入（家賃など）

10. 生活保護

3. 同居家族の扶養

7. 障害年金

11. その他（

4. 別居家族や親戚の援助

8. 障害年金以外の年金

）

問 1 5 あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 良い	4. どちらかといえば悪い
2. どちらかといえば良い	5. 悪い
3. 良くも悪くもない	

■あなたの日常生活上の支援者についてお聞きします。

問 1 6 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。

(1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a～mのそれぞれについて、つぎの 1～3 の中からもっともあてはまる番号 <u>1 つ</u> に○をつけてください。					(2) 【問 1 6 (1) で 2 か 3 と答えた場合にお答えください。】では、実際に支援をお願いするのはどなたですか。a～mのそれぞれについて、つぎの 1～4 の中からあてはまる番号 <u>すべて</u> に○をつけてください。				
	1. 自分でできる	2. ときどき支援が必要	3. つねに支援が必要	→	1. 家族や親戚	2. 友人・近所の人・ボランティア	3. ヘルパー・施設の職員	4. その他()	
a. 食事をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
b. トイレを利用するとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
c. 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
d. 入浴するとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
e. 着替えをするとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
f. 掃除・洗濯をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
g. 炊事をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
h. 外出するとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
i. 家の中で移動するとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき	1	2	3	→	1	2	3	4	
k. 生活費などお金の管理	1	2	3	→	1	2	3	4	
l. 日常の暮らしに必要な事務手続き	1	2	3	→	1	2	3	4	
m. 緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3	→	1	2	3	4	

問 1 7 あなたの日常生活を支援してくれる人についておたずねします。

(1) 主な支援者は、つぎのうちどなたですか。つぎの 1～12 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|---------------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. 配偶者の父母 | 9. 配偶者の祖父母 |
| 2. 子ども | 6. 自分の兄弟姉妹 | 10. 孫 |
| 3. 子どもの配偶者 | 7. 配偶者の兄弟姉妹 | 11. 支援者はいない⇒問 1 8 へ |
| 4. 自分の父母 | 8. 自分の祖父母 | 12. その他（ ） |

(2) 主な支援者に対して必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの 1～10 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. 仕事ができるようなサポート | 6. 経済的な援助 |
| 2. 外出できるようなサポート | 7. 相談する相手 |
| 3. 代わりに介助を頼めること | 8. 緊急時のサポート |
| 4. 介助者本人が自分の時間を持てるようにすること | 9. 特にない |
| 5. 介助の方法に関するアドバイス | 10. その他（ ） |

(3) 主な支援者が高齢、病気などで将来支援ができなくなった場合は、どうしますか。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 親族の支援を受ける |
| 2. ホームヘルパーなどを利用し、自宅で暮らしたい |
| 3. グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい |
| 4. 施設に入所する |
| 5. その他（ ） |

問 1 8 あなたは悩みや困ったことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの 1～22 の中からあてはまる番号 すべてに ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 家族 | 12. 発達相談センター |
| 2. 親戚 | 13. 配偶者の兄弟姉妹 |
| 3. 友人・知人 | 14. 高齢者支援センター |
| 4. 市役所、児童相談所などの行政機関 | 15. 社会福祉協議会 |
| 5. 障害者団体、患者団体や家族会 | 16. 医師や看護師などの医療関係者 |
| 6. 民生委員・児童委員 | 17. 学校の先生 |
| 7. 障害者相談員 | 18. 職場の人 |
| 8. 相談支援事業所 | 19. 障害者就業・生活支援センター |
| 9. 施設や作業所の職員 | 20. 相談したいができない（しない） |
| 10. グループホームの世話人 | 21. 悩みや困ったことはない |
| 11. 居宅介護のヘルパー | 22. その他（ ） |

問 1 9 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、そうじなどの支援を受けたりする居宅介護（ホームヘルプサービス）の利用について、あてはまる番号に○をつけてください。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 利用している |
| 2. 今は利用していないが、利用したことはある |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したい |
| 4. 利用したことはなく、今後も利用しない |
| 5. サービスについて知らない |

■お仕事についてお聞きします。

問 2 0 あなたの仕事や通学の状況はつぎのどれにあたりますか。つぎの 1 ～ 3 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 仕事をしている（就労移行支援・就労継続支援・作業所などを含む）⇒問 2 1（1）へ |
| 2. 仕事はしていない⇒問 2 2（1）へ |
| 3. 通学・職業訓練中⇒問 2 3へ |

問 2 1 【問 2 0 で 1 と答えた方にのみお聞きします。】

（1）あなたは現在、どのような形で働いていますか。つぎの 1 ～ 6 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 常勤（正規の職員・社員） | 4. 就労移行支援・就労継続支援・作業所など |
| 2. パート、アルバイト、臨時雇い（派遣社員を含む） | 5. 内職 |
| 3. 家の仕事（自営業、手伝い） | 6. その他（ ） |

（2）仕事の悩みや困っていることがありますか。つぎの 1 ～ 1 0 の中からあてはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 仕事（細かい作業など）がむずかしい |
| 2. 障害について理解や協力をしてもらえない |
| 3. 職場までの通勤が不便である（距離が遠い、交通手段が限られているなど） |
| 4. 職場の建物や机などの設備が使いにくい |
| 5. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない |
| 6. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある |
| 7. 障害がない人と比べて給料が安い |
| 8. 職場での人間関係がうまくいかない |
| 9. とくに困っていることや悩みはない |
| 10. その他（ ） |

（3）就職するときに、どこかの支援を受けましたか。つぎの 1 ～ 8 の中からあてはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ハローワーク | 5. 小松障害者就業・生活支援センター |
| 2. 学校 | 6. 就労移行支援事業所 |
| 3. 石川障害者職業センター | 7. 支援を受けていない |
| 4. 金沢障害者就業・生活支援センター | 8. その他（ ） |

（4）あなたの仕事による 1 年間の収入は、つぎのどれにあたりますか。つぎの 1 ～ 1 4 の中からもっともあてはまる番号 1 つ に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. なし | 8. 5 0 0 ～ 6 0 0 万円未満 |
| 2. 5 0 万円未満 | 9. 6 0 0 ～ 7 0 0 万円未満 |
| 3. 5 0 ～ 1 0 0 万円未満 | 10. 7 0 0 ～ 8 0 0 万円未満 |
| 4. 1 0 0 ～ 2 0 0 万円未満 | 11. 8 0 0 ～ 9 0 0 万円未満 |
| 5. 2 0 0 ～ 3 0 0 万円未満 | 12. 9 0 0 ～ 1 0 0 0 万円未満 |
| 6. 3 0 0 ～ 4 0 0 万円未満 | 13. 1 0 0 0 万円以上 |
| 7. 4 0 0 ～ 5 0 0 万円未満 | 14. わからない |

問 2 2 【問 2 0 で 2 と答えた方のみお聞きします。】

(1) 働いていない理由はなんですか。つぎの 1～8 の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 働く所がないため | 5. 病気のため |
| 2. 通勤が困難なため | 6. 重度の障害のため |
| 3. 自分にあった仕事がないため | 7. 家事に専念しているため |
| 4. 高齢のため | 8. その他 () |

(2) 今後、働きたいとお考えですか。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 働きたい | 4. 働く必要がない |
| 2. 働きたいが、自分の心身の状況などを考えるとむずかしい | 5. わからない |
| 3. 働きたくない | |

(3) どのような形で働きたいと思いますか。つぎの 1～6 の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 常勤（正規の職員・社員） | 4. 就労移行支援・就労継続支援・作業所など |
| 2. パート、アルバイト、臨時雇い（派遣社員を含む） | 5. 内職 |
| 3. 家の仕事（自営業、手伝い） | 6. その他 () |

問 2 3 【ここからまたすべての方にお聞きします。】あなたは障害のある人が就労しやすくするため、何が必要と考えますか。つぎの 1～7 の中からあてはまる番号 すべてに ○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 就労に必要な技術や知識を身につけるための訓練の場 |
| 2. 通勤するための移動サービス |
| 3. 行政の雇用支援（ジョブコーチ制度、企業への助成制度など） |
| 4. 障害のある人の雇用に対する雇用者側の理解と努力 |
| 5. 障害のある人自身の就労に対する意識改革 |
| 6. 市民に対する障害のある人の就労に関する啓発 |
| 7. その他 () |

■外出についてお聞きします。

問 2 4 あなたは過去 1 年間にどれくらい外出しましたか。つぎの 1～6 の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に 3～4 回 |
| 2. 週に 4～5 回 | 5. 月に 1～2 回 |
| 3. 週に 2～3 回 | 6. ほとんど外出していない |

問 2 5 あなたの主な外出先・用件はどちらですか。つぎの 1～10 の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 通院 | 6. 金融機関 |
| 2. 通学・通勤 | 7. 団体等の会議・催し |
| 3. 買い物 | 8. 余暇活動 |
| 4. 親戚・友人・知人宅 | 9. デイサービスなどの福祉施設 |
| 5. 役所 | 10. その他 () |

問26 あなたは外出されるとき、主にどなたと外出されますか。つぎの1～9の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 単独（白杖歩行・盲導犬を含む）
2. 家族・親戚
3. ガイドヘルパー
4. ホームヘルパー
5. デイなどの施設の職員
6. 友人・知人
7. 近所の人
8. ボランティア
9. その他（ ）

問27 あなたの外出のときの主な移動手段は何ですか。つぎの1～8の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. バス
4. 電車
5. タクシー
6. 自家用車（自分で運転する）
7. 自家用車（乗せてもらう）
8. その他（ ）

問 28 あなたは外出する時に、移動の支援などのお手伝いをする移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 今は利用していないが、過去に利用したことがある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない
5. サービスについて知らない

問29 あなたが外出するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない
2. 乗物や公共施設の案内表示がわかりにくい
3. 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い
4. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない
5. 車などに危険を感じる
6. まわりが気にかかる
7. 介助者がいないので外出できない
8. 人とのコミュニケーションがとりにくい
9. ほとんど外出しないのでわからない
10. とくに困ることはない
11. その他 ()

問30 文化やレジャーなどの活動についてお聞きします。

	(1) あなたは、この1年間にどのようなことをしましたか。a～jのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。		(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a～jのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。	
	1. した	2. しない	1. したい	2. したくない
a. コンサートの鑑賞や観劇など	1	2	1	2
b. スポーツ教室、大会などへの参加	1	2	1	2
c. 旅行・キャンプ・つりなど	1	2	1	2
d. 学習活動	1	2	1	2
e. 趣味の同好会への参加	1	2	1	2
f. ボランティアなどの社会活動	1	2	1	2
g. 障害のある仲間との交流（ふれあい）	1	2	1	2
h. 町会・地域活動	1	2	1	2
i. 特にない	1	2	1	2
j. その他（ ）	1	2	1	2

■災害時の対応についてお聞きします。

問31 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時にすぐに困ると思われることは何ですか。つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 投薬や治療を受けられない 2. 補装具の使用が困難になる 3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる 4. 自分の状況が周囲の人に理解してもらえない 5. 安全なところまで、迅速に避難することができない 6. 被害状況、避難所の場所、物資の入手方法などの情報が入ってこない 7. 周囲の人とコミュニケーションがとれない 8. 避難所の設備（トイレなど）について不安 9. 家族の安否情報がとりづらい 10. 救助を求めることができない 11. とくにない 12. その他（ ）

(2) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

(3) 地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

1. できる

2. できない

3. わからない

(4) 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

1. いる

2. いない

3. わからない

問3 2 白山市では、災害時要援護者に対する支援として、災害時要援護者マップを作成しています。

(1) このマップについて知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

(2) では、災害時要援護者マップの作成に同意をされていますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

1. 同意している⇒問3 3へ

2. 同意していない⇒問3 2 (3)へ

3. わからない⇒問3 2 (3)へ

(3) 【問3 2 (2) で2か3と答えた方にのみお聞きします。】今後、マップ作成に同意するつもりはありますか。

1. 同意するつもりはない⇒問3 2 (4)へ

2. 同意するつもりだ⇒問3 3へ

(4) 【問3 2 (3) で1と答えた方にのみお聞きします。】マップ作成に同意するつもりはない理由は何ですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号 すべてに ○をつけてください。

1. 支援が期待できないから

5. 町内会や自主防災組織などが組織的な取り組みをしていないのでなんとなく不安だから

2. 家族の支援を受けられるから

3. 個人情報を知られたくないから

6. 知っているが制度がよく理解できないから

4. 依頼できる支援者がいないから

7. その他 ()

■あなたの医療や福祉サービスの利用などについてお聞きします。

問3 3 あなたは医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号 すべてに ○をつけてください。

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない

2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない

3. 医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない

4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない

5. 医療費の負担が大きい

6. とくに困っていることはない

7. その他 ()

問 3 4 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの 1～13 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 身体障害者相談員 | 9. 介護保険のケアマネージャー |
| 3. 相談支援事業所・相談支援専門員 | 10. 同じ障害のある人の団体・グループ |
| 4. 市役所の相談窓口 | 11. 相談するところがない |
| 5. 保健所・福祉健康センター | 12. どこに相談に行ったらよいかわからない |
| 6. 医療機関 | 13. その他 () |
| 7. 障害福祉施設 | |

問 3 5 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは、どれを受け入れたいと思いますか。つぎの 1～10 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 調理 | 6. 病院などへの送迎・外出介助 |
| 2. 洗濯 | 7. 買い物 |
| 3. 部屋のそうじ・庭の手入れ | 8. 代筆・代読 |
| 4. 話し相手、相談相手 | 9. ボランティアのサービスは受け入れない |
| 5. 家屋内外の簡単な修理 | 10. その他 () |

問 3 6 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの 1～17 からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい |
| 2. 外出（買物など）の支援をしてほしい |
| 3. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい |
| 4. 障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい |
| 5. 一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい |
| 6. ジョブコーチ制度を充実させてほしい |
| 7. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい |
| 8. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい |
| 9. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい |
| 10. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい |
| 11. いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい |
| 12. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい |
| 13. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する支援をしてほしい |
| 14. 福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい |
| 15. 円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい |
| 16. とくにない |
| 17. その他 () |

■ここからは障害や差別についてお聞きします。

問 3 7 障害に関する差別についてお聞きします。

(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

1. ある⇒問 3 7 (2) へ

2. ない⇒問 3 8 へ

(2) 【問37(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】それはどのような分野での差別でしたか。
つぎの1～9の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 医療	4. 防災	7. 文化活動
2. 教育・療育	5. 情報バリアフリー	8. 政治参加
3. 交通や建物のバリアフリー化	6. 行政手続き	9. その他 ()

(3) それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えてください。

問38 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 合理的配慮の考え方について知っている
2. 合理的配慮という言葉は聞いたことがある
3. 合理的配慮については知らない

問39 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 知っている	2. 言葉だけは知っている	3. 知らない
----------	---------------	---------

問40 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a～dのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば そう思わない	5. そう思わない
a. 障害のある人の雇用をうながすためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ	1	2	3	4	5
b. 企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならない	1	2	3	4	5
c. 企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設を改善しないことは差別である	1	2	3	4	5
d. 障害のある人に特化した就労支援が必要である	1	2	3	4	5

問4 1 白山市の人びとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。

問4 2 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの1～6の中から、**もっとも重要なこと**、**その次に重要なこと**の番号を回答欄のなかに記入してください。

1. 障害のある人の権利や尊厳を守ること
 2. 障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること
 3. 障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること
 4. 障害のある人に世間並みの住居を提供すること
 5. 障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること
 6. 障害のある人をケアしている人を支援すること

もっとも重要なこと

次に重要なこと

問4 3 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a～fのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば そう思わない	5. そう思わない
a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う	1	2	3	4	5
b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ	1	2	3	4	5
c. 「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある	1	2	3	4	5
d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ	1	2	3	4	5
e. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ	1	2	3	4	5
f. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい	1	2	3	4	5

問4 4 政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～eのそれぞれについて、1～5の中からもっともあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば そう思わない	5. そう思わない
a. 政府は、最低限の生活水準をすべての人に保障すべきである	1	2	3	4	5
b. 政府は、働きたいというすべての人に働く機会を提供すべきである	1	2	3	4	5
c. 政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ	1	2	3	4	5
d. 政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せるべきだ	1	2	3	4	5
e. 政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ	1	2	3	4	5

問4 5 差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～fのそれぞれについて、1～5の中からもっともあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

	1. そう思う	2. どちらかといえば そう思う	3. どちらともいえない	4. どちらかといえば そう思わない	5. そう思わない
a. 差別について深く知ることによって、差別をなくすことができる	1	2	3	4	5
b. 差別される側の気持ちを考えることは難しい	1	2	3	4	5
c. いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある	1	2	3	4	5
d. 差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない	1	2	3	4	5
e. 差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ	1	2	3	4	5
f. この世の中で、差別がなくなることはない	1	2	3	4	5

問4 6 あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. とても低い	4. やや高い
2. やや低い	5. とても高い
3. どちらともいえない	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

以上で質問は終わりです。

何かご記入もれはありませんか。ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

お忙しいところ、貴重なお時間をさいていただきありがとうございました。

障害福祉に関する意識調査（身体障害のある人）

単純集計表

問 1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの 1 ～ 4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
ご本人が記入	409	82.5
ご家族が代筆	42	8.5
ご家族が本人に変わって回答	36	7.3
その他	9	1.8
合計(有効ケース)	496	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	501	

問 2 あなたの性別はどちらですか。

	度数	%
男性	252	50.3
女性	249	49.7
合計(有効ケース)	501	100.0

問 3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの 1 ～ 4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
松任	311	62.6
美川	62	12.5
鶴来	95	19.1
河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰	29	5.8
合計(有効ケース)	497	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	501	

問 4 あなたの年齢は何歳ですか。〔2 0 1 4（平成 2 6）年 1 0 月 1 日現在でお答えください〕

	度数	%
10 代	3	0.6
20 代	9	1.8
30 代	14	2.8
40 代	18	3.6
50 代	58	11.6
60 代	183	36.7
70 代	214	42.9
合計(有効ケース)	499	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	501	

問 5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

	度数	%
1	56	11.3
2	164	33.1
3	104	21.0
4	63	12.7
5	47	9.5
6	33	6.7
7	20	4.0
8	7	1.4
9	2	0.4
合計(有効ケース)	496	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	501	

問6 あなたが同居されているご家族を、つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。ただし、亡くなっているかは除いてください。

	度数	%
配偶者(夫・妻)	352	72.0
子ども	240	49.1
子どもの配偶者	69	14.1
自分の父母	62	12.7
配偶者の父母	18	3.7
自分の兄弟姉妹	29	5.9
配偶者の兄弟姉妹	2	0.4
自分の祖父母	7	1.4
配偶者の祖父母	1	0.2
孫	71	14.5
その他	8	1.6
あてはまる人はいない	36	7.4
合計(有効ケース)	489	
無回答	12	
合計(全ケース)	501	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問7 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家(一戸建て住宅)	453	90.4
持ち家(集合住宅)	3	0.6
市営・県営などの公的賃貸住宅	9	1.8
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	14	2.8
民間の借家・賃貸アパート・マンション	15	3.0
その他	7	1.4
合計(有効ケース)	501	100.0

(2) これからの生活をどこで送りたいですか。つぎの1～7の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家(一戸建て住宅)	421	85.1
持ち家(集合住宅)	7	1.4
市営・県営などの公的賃貸住宅	12	2.4
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	17	3.4
民間の借家・賃貸アパート・マンション	9	1.8
入所施設	22	4.4
その他	7	1.4
合計(有効ケース)	495	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	501	

問8 あなたのお持ちの身体障害者手帳についてお聞きします。

(1) あなたの身体障害者手帳の等級は、総合等級では何級ですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
1級	131	26.4
2級	80	16.1
3級	108	21.7
4級	128	25.8
5級	29	5.8
6級	21	4.2
合計(有効ケース)	497	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	501	

(2) では、あなたの障害はどのような障害ですか。つぎの1～5の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
視覚障害	20	4.0
聴覚障害、平衡機能障害	32	6.5
音声・言語機能障害、そしてやく機能障害	24	4.9
肢体不自由	303	61.3
内部障害	158	32.0
合計(有効ケース)	494	100.0
無回答	7	
合計(全ケース)	501	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(3) あなたの障害の原因はなんですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
交通事故	16	3.3
労働災害	25	5.2
その他の事故	21	4.3
先天性	74	15.3
疾病	240	49.6
その他	108	22.3
合計(有効ケース)	484	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	501	

(4) あなたが身体障害者手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

	度数	%
10歳未満	22	4.5
10代	23	4.8
20代	31	6.4
30代	31	6.4
40代	51	10.5
50代	126	26.0
60代	134	27.7
70代	66	13.6
合計(有効ケース)	484	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	501	

問9 (1) あなたは、身体障害者手帳のほかに、療育手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている	9	1.9
持っていない	477	98.1
合計(有効ケース)	486	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	501	

(2) あなたの療育手帳の判定は、次のいずれですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
A.	3	100.0
B 1	0	0
B 2	0	0
合計(有効ケース)	3	100.0
無回答・非該当	498	
合計(全ケース)	501	

問 10 (1) あなたは、身体障害者手帳のほかに、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている	5	1.1
持っていない	445	98.9
合計(有効ケース)	450	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	501	

(2) では、精神障害者福祉保健手帳の等級は何級ですか。つぎの 1～3 の中からあてはまる番号 1 に○をつけてください。

	度数	%
1 級	3	75.0
2 級	0	0
3 級	1	25.0
合計(有効ケース)	4	100.0
無回答・非該当	497	
合計(全ケース)	501	

問 11 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

	度数	%
はい	71	16.1
いいえ	371	83.9
合計(有効ケース)	442	100.0
無回答	59	
合計(全ケース)	501	

問 12 あなたは発達障害（自閉症、学習障害など）の診断を受けていますか。

	度数	%
はい	1	0.2
いいえ	421	99.8
合計(有効ケース)	422	100.0
無回答	79	
合計(全ケース)	501	

問 13 障害支援区分についてお聞きします。

(1) あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

	度数	%
受けている	29	7.1
受けていない	381	92.9
合計(有効ケース)	410	100.0
無回答	91	
合計(全ケース)	501	

(2) その障害支援区分は、つぎのどれにあたりますか。つぎの 1～7 の中からあてはまる番号 12 に○をつけてください。

	度数	%
区分 1	6	22.2
区分 2	1	3.7
区分 3	3	11.1
区分 4	1	3.7
区分 5	1	3.7
区分 6	1	3.7
わからない	14	51.9
合計(有効ケース)	27	100.0
無回答・非該当	474	
合計(全ケース)	501	

問 1 4 あなたは何により生活費を得ていますか。つぎの 1 ～ 1 1 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
勤め先の給与や賃金	113	23.3
通所施設・作業所などの工賃	2	0.4
同居家族の扶養	133	27.4
別居家族や親戚の援助	4	0.8
事業収入	36	7.4
財産収入	10	2.1
障害年金	100	20.6
障害年金以外の年金	212	43.7
特別障害者手当	6	1.2
生活保護	3	0.6
その他	36	7.4
合計(有効ケース)	485	
無回答	16	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 1 5 あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。つぎの 1 ～ 5 の中からもつともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
良い	67	13.8
どちらかといえば良い	81	16.7
良くも悪くもない	231	47.5
どちらかといえば悪い	65	13.4
悪い	42	8.6
合計(有効ケース)	486	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	501	

問 1 6 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。

(1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a. ～mのそれぞれについて、つぎの 1 ～ 3 の中からもつともあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 食事をするとき

	度数	%
自分ができる	392	88.3
ときどき支援が必要	30	6.8
つねに支援が必要	22	5.0
合計(有効ケース)	444	100.0
無回答	57	
合計(全ケース)	501	

b. トイレを利用するとき

	度数	%
自分ができる	390	87.2
ときどき支援が必要	22	4.9
つねに支援が必要	35	7.8
合計(有効ケース)	447	100.0
無回答	54	
合計(全ケース)	501	

c. 薬を飲んだり保管するとき

	度数	%
自分ができる	383	86.5
ときどき支援が必要	20	4.5
つねに支援が必要	40	9.0
合計(有効ケース)	443	100.0
無回答	58	
合計(全ケース)	501	

d. 入浴するとき

	度数	%
自分ができる	359	80.1
ときどき支援が必要	27	6.0
つねに支援が必要	62	13.8
合計(有効ケース)	448	100.0
無回答	53	
合計(全ケース)	501	

e. 着替えをするとき

	度数	%
自分ができる	365	81.1
ときどき支援が必要	42	9.3
つねに支援が必要	43	9.6
合計(有効ケース)	450	100.0
無回答	51	
合計(全ケース)	501	

i. 家の中で移動するとき

	度数	%
自分ができる	377	85.1
ときどき支援が必要	35	7.9
つねに支援が必要	31	7.0
合計(有効ケース)	443	100.0
無回答	58	
合計(全ケース)	501	

f. 洗濯をするとき

	度数	%
自分ができる	287	65.8
ときどき支援が必要	53	12.2
つねに支援が必要	96	22.0
合計(有効ケース)	436	100.0
無回答	65	
合計(全ケース)	501	

j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき

	度数	%
自分ができる	361	82.2
ときどき支援が必要	46	10.5
つねに支援が必要	32	7.3
合計(有効ケース)	439	100.0
無回答	62	
合計(全ケース)	501	

g. 炊事をするとき

	度数	%
自分ができる	291	67.2
ときどき支援が必要	46	10.6
つねに支援が必要	96	22.2
合計(有効ケース)	433	100.0
無回答	68	
合計(全ケース)	501	

k. 生活費などのお金の管理

	度数	%
自分ができる	328	74.7
ときどき支援が必要	42	9.6
つねに支援が必要	69	15.7
合計(有効ケース)	439	100.0
無回答	62	
合計(全ケース)	501	

h. 外出するとき

	度数	%
自分ができる	309	68.2
ときどき支援が必要	56	12.4
つねに支援が必要	88	19.4
合計(有効ケース)	453	100.0
無回答	48	
合計(全ケース)	501	

l. 日常の暮らしに必要な事務手続き

	度数	%
自分ができる	294	65.9
ときどき支援が必要	63	14.1
つねに支援が必要	89	20.0
合計(有効ケース)	446	100.0
無回答	55	
合計(全ケース)	501	

m. 緊急時に避難・連絡したいとき

	度数	%
自分でできる	283	62.1
ときどき支援が必要 つねに支援が必要	75 98	16.4 21.5
合計(有効ケース)	456	100.0
無回答	45	
合計(全ケース)	501	

問 17 あなたの日常生活を支援してくれる人についておたずねします。

(1) 主な支援者は、つぎのうちどなたですか。つぎの1～12の中からもつともあてはまる番号 1つに○をつけてください。

	度数	%
配偶者	286	59.0
子ども	75	15.5
子どもの配偶者	15	3.1
自分の父母	31	6.4
配偶者の父母	0	0
自分の兄弟姉妹	19	3.9
配偶者の兄弟姉妹	0	0
自分の祖父母	0	0
配偶者の祖父母	0	0
孫	4	0.8
支援者はいない	34	7.0
その他	21	4.3
合計(有効ケース)	485	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	501	

(2) 主な支援者に対して必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの1～10の中からもつともあてはまる番号 1つに○をつけてください。

	度数	%
仕事ができるようなサポート	18	4.1
外出できるようなサポート	30	6.9
代わりに支援を頼めること	14	3.2
支援者本人が自分の時間を持てるようにすること	17	3.9
支援の方法に関するアドバイス	5	1.2
経済的な援助	70	16.1
相談する相手	41	9.4
緊急時のサポート	62	14.3
特にない	165	38.0
その他	12	2.8
合計(有効ケース)	434	100.0
無回答・非該当	67	
合計(全ケース)	501	

(3) 主な支援者が高齢、病気などで将来介助ができなくなつた場合は、どうしますか。つぎの1～5の中からもつともあてはまる番号 1つに○をつけてください。

	度数	%
親族の支援を受ける	100	22.7
ホームヘルパーなどを利用し、自宅で暮らしたい	147	33.4
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい	48	10.9
施設に入所する	112	25.5
その他	33	7.5
合計(有効ケース)	440	100.0
無回答・非該当	61	
合計(全ケース)	501	

問 1 8 あなたは悩みや困ったことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの 1 ～ 2 2 の中からあてはまる番号 すべてに ○をつけてください。

	度数	%
家族	393	81. 7
親戚	109	22. 7
友人・知人	125	26. 0
市役所、児童相談所などの行政機関	89	18. 5
障害者団体、患者団体や家族会	9	1. 9
民生委員・児童委員	27	5. 6
障害者相談員	38	7. 9
相談支援事業所	11	2. 3
施設や作業所の職員	16	3. 3
グループホームの世話人	8	1. 7
居宅介護のヘルパー	19	4. 0
発達相談センター	0	0
配偶者の兄弟姉妹	29	6. 0
高齢者支援センター	25	5. 2
社会福祉協議会	17	3. 5
医師や看護師などの医療関係者	75	15. 6
学校の先生	2	0. 4
職場の人	14	2. 9
障害者就業・生活支援センター	8	1. 7
相談したいができない（しない）	25	5. 2
悩みや困ったことはない	22	4. 6
その他	8	1. 7
合計(有効ケース)	481	
無回答	20	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 1 9 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、そうじなどの支援を受けたりする居宅介護（ホームヘルプサービス）の利用について、つぎの 1 ～ 5 の中からあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

	度数	%
利用している	29	6. 3
今は利用していないが、利用したことはある	16	3. 5
利用したことはないが、今後利用したい	182	39. 6
利用したことはなく、今後も利用しない	141	30. 7
サービスについて知らない	92	20. 0
合計(有効ケース)	460	100. 0
無回答	41	
合計(全ケース)	501	

問 2 0 あなたの仕事や通学の状況はつぎのどれにあたりますか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

	度数	%
仕事をしている	161	33. 3
仕事はしていない	318	65. 8
通学・職業訓練中	4	0. 8
合計(有効ケース)	483	100. 0
無回答	18	
合計(全ケース)	501	

問 2 1 (1) あなたは現在、どのような形で働いていますか。つぎの 1 ～ 6 の中からあてはまる番号 1 つに ○をつけてください。

	度数	%
常勤	60	37. 3
パート、アルバイト、臨時雇い	55	34. 2
家の仕事	36	22. 4
就労移行支援・就労継続支援・作業所など	5	3. 1
内職	1	0. 6
その他	4	2. 5
合計(有効ケース)	161	100. 0
無回答・非該当	340	
合計(全ケース)	501	

(2) 仕事の悩みや困っていることがありますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号すべてに
○をつけてください。

	度数	%
仕事が難しい	17	10.2
障害について理解や協力をしてもらえない	13	7.8
職場までの通勤が不便である	11	6.6
職場の建物や机などの設備が使いにくい	4	2.4
職場でのコミュニケーションがうまくとれない	8	4.8
障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある	16	9.6
障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある	16	9.6
職場での人間関係がうまくいかない	8	4.8
とくに困っていることや悩みはない	93	55.7
その他	11	6.6
合計(有効ケース)	167	
無回答・非該当	334	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(3) 就職するときに、どこかの支援を受けましたか。つぎの1～8の中からあてはまる番号すべてに
○をつけてください。

	度数	%
ハローワーク	32	20.1
学校	7	4.4
石川障害者職業センター	4	2.5
金沢障害者就業・生活支援センター	0	0
小松障害者就業・生活支援センター	0	0
就労移行支援事業所	0	0
支援を受けていない	88	55.3
その他	25	15.7
合計(有効ケース)	159	
無回答・非該当	342	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(4) あなたの仕事による1年間の収入は、つぎのどれにあたりますか。つぎの1～14の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
なし	2	1.1
50万円未満	11	6.2
50～100万円未満	41	23.0
100～200万円未満	36	20.2
200～300万円未満	23	12.9
300～400万円未満	19	10.7
400～500万円未満	6	3.4
500～600万円未満	6	3.4
600～700万円未満	22	12.4
700～800万円未満	1	0.6
800～900万円未満	2	1.1
900～1000万円未満	2	1.1
1000万円以上	2	1.1
わからない	5	2.8
合計(有効ケース)	178	100.0
無回答・非該当	323	
合計(全ケース)	501	

問22

(1) 働いていない理由はなんですか。つぎの1～8の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
働く所がないため	6	2.0
通勤が困難なため	3	1.0
自分にあった仕事がないため	13	4.2
高齢のため	127	41.4
病気のため	69	22.5
重度の障害のため	52	16.9
家事に専念しているため	23	7.5
その他	14	4.6
合計(有効ケース)	307	100.0
無回答・非該当	194	
合計(全ケース)	501	

問 2 今後、働きたいとお考えですか。つぎの 1 ～ 5 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

	度数	%
働きたい	21	7. 1
働きたいが、自分の心身の状況などを考えると難しい	104	35. 4
働きたくない	61	20. 7
働く必要がない	78	26. 5
わからない	30	10. 2
合計(有効ケース)	294	100. 0
無回答・非該当	207	
合計(全ケース)	501	

問 3 どのような形で働きたいと思いますか。つぎの 1 ～ 6 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

	度数	%
常勤	7	4. 8
パート・アルバイト・臨時雇い	38	25. 9
家の仕事	28	19. 0
就労移行支援・就労継続支援・作業所など	12	8. 2
内職	21	14. 3
その他	41	27. 9
合計(有効ケース)	147	100. 0
無回答・非該当	354	
合計(全ケース)	501	

問 2 3 あなたは障害のある人が就労しやすくするため、何が必要と考えますか。つぎの 1 ～ 7 の中からもっともあてはまる番号 **すべてに** ○ をつけてください。

	度数	%
就労に必要な技術や知識を身につけるための訓練の場	184	44. 1
通勤するための移動サービス	121	29. 0
行政の雇用支援	138	33. 1
障害のある人の雇用に対する雇用者側の理解と努力	242	58. 0
障害のある人自身の就労に対する意識改革	141	33. 8
市民に対する障害のある人の就労に関する啓発	78	18. 7
その他	27	6. 5
合計(有効ケース)	417	100. 0
無回答	84	
合計(全ケース)	501	

問 2 4 あなたは過去 1 年間にどれくらい外出しましたか。つぎの 1 ～ 6 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

	度数	%
ほぼ毎日	204	41. 1
週に 4 ～ 5 回	98	19. 8
週に 2 ～ 3 回	104	21. 0
月に 3 ～ 4 回	37	7. 5
月に 1 ～ 2 回	33	6. 7
ほとんど外出していない	20	4. 0
合計(有効ケース)	496	100. 0
無回答	5	
合計(全ケース)	501	

問 2 5 あなたは主な外出先・用件はどちらですか。つぎの 1 ～ 1 0 の中からあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

	度数	%
通院	98	19. 8
通学・通勤	98	19. 8
買い物	165	33. 4
親戚・友人・知人宅	20	4. 0
役所	1	0. 2
金融機関	2	0. 4
団体等の会議・催し	8	1. 6
余暇活動	36	7. 3
デイサービスなどの福祉施設	33	6. 7
その他	33	6. 7
合計(有効ケース)	494	100. 0
無回答	7	
合計(全ケース)	501	

問26 あなたは外出されるとき、主にどなたと外出されますか。つぎの1～9の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
単独	229	46.7
家族・親戚	181	36.9
ガイドヘルパー	4	0.8
ホームヘルパー	3	0.6
デイなどの施設の職員	27	5.5
友人・知人	27	5.5
近所の人	1	0.2
ボランティア	0	0
その他	18	3.7
合計(有効ケース)	490	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	501	

問27 あなたの外出のときの主な移動手段は何ですか。つぎの1～8の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
徒歩	25	5.0
自転車	21	4.2
バス	10	2.0
電車	8	1.6
タクシー	16	3.2
自家用車（自分で運転する）	267	53.8
自家用車（乗せてもらう）	136	27.4
その他	13	2.6
合計(有効ケース)	496	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	501	

問28 あなたは外出する時に、移動の支援などのお手伝いをする移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
利用している	34	7.2
今は利用していないが、過去に利用したことがある	21	4.4
利用したことはないが、今後利用したい	148	31.4
利用したことはなく、今後も利用しない	149	31.6
サービスについて知らない	120	25.4
合計(有効ケース)	472	100.0
無回答	29	
合計(全ケース)	501	

問29 あなたが外出するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない 乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い 出入り口や階段、トイレなど建物が用意に利用できるよう改良されていない 車などに危険を感じる まわりが気にかかる 支援者がいないので外出できない 人とのコミュニケーションがとりにくい ほとんど外出しないのでわからない とくに困ることはない その他	72 37 125 84 38 29 16 28 21 235 22	15.3 7.8 26.5 17.8 8.1 6.1 3.4 5.9 4.4 49.9 4.7
合計(有効ケース)	472	
無回答	329	
合計(全ケース)	501	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問30 文化やレジャーなどの活動についてお聞きます。

(1) あなたは、この1年間にどのようなことをしましたか。a. ～jのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
した	135	36.3
しない	237	63.7
合計(有効ケース)	372	100.0
無回答	129	
合計(全ケース)	501	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
した	75	20.8
しない	286	79.2
合計(有効ケース)	361	100.0
無回答	140	
合計(全ケース)	501	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
した	206	52.8
しない	184	47.2
合計(有効ケース)	390	100.0
無回答	111	
合計(全ケース)	501	

d. 学習活動

	度数	%
した	73	21.3
しない	270	78.7
合計(有効ケース)	343	100.0
無回答	158	
合計(全ケース)	501	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
した	87	23.8
しない	278	76.2
合計(有効ケース)	365	100.0
無回答	136	
合計(全ケース)	501	

f. ボランティアなどの社会活動

	度数	%
した	66	19.1
しない	279	80.9
合計(有効ケース)	345	100.0
無回答	156	
合計(全ケース)	501	

g. 障害のある仲間との交流

	度数	%
した	75	21.4
しない	276	78.6
合計(有効ケース)	351	100.0
無回答	150	
合計(全ケース)	501	

h. 町会・地域活動

	度数	%
した	174	46.2
しない	203	53.8
合計(有効ケース)	377	100.0
無回答	124	
合計(全ケース)	501	

i. 特 に ない

	度数	%
した	41	24. 8
しない	124	75. 2
合計(有効ケース)	165	100. 0
無回答・非該当	336	
合計(全ケース)	501	

j. その他

	度数	%
した	13	15. 1
しない	73	84. 9
合計(有効ケース)	86	100. 0
無回答	415	
合計(全ケース)	501	

(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a. ～j のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
したい	191	64. 7
したくない	104	35. 3
合計(有効ケース)	295	100. 0
無回答	206	
合計(全ケース)	501	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
したい	95	34. 4
したくない	181	65. 6
合計(有効ケース)	276	100. 0
無回答	225	
合計(全ケース)	501	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
したい	222	72. 8
したくない	83	27. 2
合計(有効ケース)	305	100. 0
無回答	196	
合計(全ケース)	501	

d. 学習活動

	度数	%
したい	111	40. 5
したくない	163	59. 5
合計(有効ケース)	274	100. 0
無回答	227	
合計(全ケース)	501	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
したい	148	51. 4
したくない	140	48. 6
合計(有効ケース)	288	100. 0
無回答	213	
合計(全ケース)	501	

f. ボランティアなど社会活動

	度数	%
したい	92	34. 6
したくない	174	65. 4
合計(有効ケース)	266	100. 0
無回答	235	
合計(全ケース)	501	

g. 障害のある仲間との交流

	度数	%
したい	108	39.6
したくない	165	60.4
合計(有効ケース)	273	100.0
無回答	228	
合計(全ケース)	501	

h. 町会・地域活動

	度数	%
したい	130	45.3
したくない	157	54.7
合計(有効ケース)	287	100.0
無回答	214	
合計(全ケース)	501	

i. 特にない

	度数	%
したい	30	21.9
したくない	107	78.1
合計(有効ケース)	137	100.0
無回答・非該当	364	
合計(全ケース)	501	

j. その他

	度数	%
したい	10	14.3
したくない	60	85.7
合計(有効ケース)	70	100.0
無回答	431	
合計(全ケース)	501	

問3-1 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時にすぐに困ると思われることは何ですか。つぎの1～12の中からあてはまる番号**すべてに○**をつけてください。

	度数	%
投薬や治療を受けられない	233	48.6
補装具の使用が困難になる	59	12.3
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	76	15.9
自分の状況が周囲の人に理解してもらえない	115	24.0
安全なところで、迅速に避難することができない	229	47.8
被害状況、避難所の場所、物資の入手方法などの情報が入ってこない	83	17.3
周囲の人とコミュニケーションがとれない	54	11.3
避難所の設備について不安	196	40.9
家族の安否情報がとりづらい	81	16.9
救助を求めることができない	51	10.6
とくにない	84	17.5
その他	14	2.9
合計(有効ケース)	479	
無回答	22	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(2) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

	度数	%
知っている	317	68.2
知らない	148	31.8
合計(有効ケース)	465	100.0
無回答	36	
合計(全ケース)	501	

(3) 地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号**1つに○**をつけてください。

	度数	%
できる	245	49.7
できない	142	28.8
わからない	106	21.5
合計(有効ケース)	493	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	501	

(4) 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいいますか。つぎの1～3の中から一つに○をつけてください。

	度数	%
いる	157	32.7
いない	132	27.7
わからない	190	39.6
合計(有効ケース)	480	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	501	

問32 白山市では、災害時要援護者に対する支援として、災害時要援護者マップを作成しています。(1) このマップについて知っていますか。

	度数	%
知っている	198	40.7
知らない	288	59.3
合計(有効ケース)	485	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	501	

(2) では、災害時要援護者マップの作成に同意をされていますか。つぎの1～3の中から一つもあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
同意している	136	30.6
同意していない	63	14.2
わからない	246	55.3
合計(有効ケース)	445	100.0
無回答	56	
合計(全ケース)	501	

(3) 今後、マップ作成に同意するつもりはありますか。

	度数	%
同意するつもりはない	86	31.9
同意するつもりだ	184	68.1
合計(有効ケース)	270	100.0
無回答・非該当	231	
合計(全ケース)	501	

(4) マップ作成に同意するつもりはない理由は何ですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号一つに○をつけてください。

	度数	%
支援が期待できないから	11	6.8
家族の支援を受けられるから	40	24.7
個人情報を知られたくない	22	13.6
依頼できる支援者がいないから	13	8.0
町内会や自主防災組織などが組織的な取り組みをしていないのでなんとなく不安だから	13	8.0
知っているが制度がよく理解できないため	21	13.0
その他	13	8.0
合計(有効ケース)	162	
無回答・非該当	339	
合計(全ケース)	501	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問33 あなたは医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
通院するとき付き添いをしてくれる人がいない	21	4.5
意思・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない	33	7.0
医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない	17	3.6
専門的な治療をしてくれる病院が近くにない	59	12.6
医療費の負担が大きい	72	15.3
とくに困っていることはない	313	66.6
その他	16	3.4
合計(有効ケース)	470	
無回答	31	
合計(全ケース)	501	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 4 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの 1 ～ 1 3 のなかからあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
民生委員・児童委員	20	4.3
身体障害者相談員	29	6.2
相談支援事業所・相談支援専門員	9	1.9
市役所の相談窓口	195	41.9
保健所・福祉健康センター	24	5.2
医療機関	146	31.4
障害福祉施設	19	4.1
社会福祉協議会	19	4.1
介護保険のケアマネジャー	70	15.1
同じ障害のある人の団体・グループ	13	2.8
相談するところがない	16	3.4
どこに相談に行ったらよいかわからない	71	15.3
その他	42	9.0
合計(有効ケース)	465	
無回答	36	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 5 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは、どれを受け入れたいと思いますか。つぎの 1 ～ 1 0 のなかからあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
調理	60	13.9
洗濯	40	9.2
部屋の掃除・庭の手入れ	120	27.7
話し相手、相談相手	65	15.0
家屋内外の簡単な修理	103	23.8
病院などへの送迎・外出支援	122	28.2
買い物	67	15.5
代筆・代読	18	4.2
ボランティアのサービスは受け入れない	74	17.1
その他	60	13.9
合計(有効ケース)	433	
無回答	68	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 6 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの 1 ～ 1 7 からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
毎日の生活の手助けがもっとほしい	28	6.1
外出の支援をしてほしい	48	10.5
障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい	88	19.3
障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい	67	14.7
一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい	24	5.3
ジョブコーチ制度を充実させてほしい	10	2.2
リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	75	16.4
障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい	38	8.3
外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい	91	19.9
いつでもなんでも相談できる窓口を用意してほしい	108	23.6
いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい	52	11.4
年金などの経済的な援助を増やしてほしい	211	46.2
スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい	26	5.7
福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい	85	18.6
円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい	48	10.5
とくにない	117	25.6
その他	15	3.3
合計(有効ケース)	457	
無回答	44	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 7 障害に関する差別についてお聞きします。

(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

	度数	%
ある	83	17.8
ない	383	82.2
合計(有効ケース)	466	100.0
無回答	35	
合計(全ケース)	501	

問 3 9 それほどのような分野での差別でしたか。つぎの 1 ～ 9 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
医療	15	14.3
教育・療育	7	6.7
交通や建物のバリアフリー化	21	20.0
防災	7	6.7
情報バリアフリー	7	6.7
行政手続き	12	11.4
文化活動	6	5.7
政治参加	4	3.8
その他	31	29.5
合計(有効ケース)	105	
無回答・非該当	396	
合計(全ケース)	501	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 10 それほどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的に教えてください。

	度数	%
記述あり	45	38.1
記述なし	73	61.9
合計(有効ケース)	118	100.0
非該当	383	
合計(全ケース)	501	

問 3 8 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
合理的配慮の考え方について知っている	23	5.3
合理的配慮という言葉は聞いたことがある	53	12.1
合理的配慮については知らない	362	82.6
合計(有効ケース)	438	100.0
無回答	63	
合計(全ケース)	501	

問 3 9 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
知っている	77	16.6
言葉だけは知っている	150	32.3
知らない	237	51.1
合計(有効ケース)	464	100.0
無回答	37	
合計(全ケース)	501	

問 4 0 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a. ～ d のそれぞれについて、つぎの 1 ～ 5 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 障害のある人の雇用を促すためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ

	度数	%
そう思う	228	54.6
どちらかといえばそう思う	116	27.6
どちらともいえない	62	14.8
どちらかといえばそう思わない	5	1.2
そう思わない	9	2.1
合計(有効ケース)	420	100.0
無回答	81	
合計(全ケース)	501	

b. 企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならない

	度数	%
そう思う	177	43.4
どちらかといえばそう思う	141	34.6
どちらともいえない	83	20.3
どちらかといえばそう思わない	2	0.5
そう思わない	5	1.2
合計(有効ケース)	408	100.0
無回答	93	
合計(全ケース)	501	

ｃ．企業が、障害のある人にとって働きやすい職場の施設を改善しないことは差別である

	度数	%
そう思う	112	27.8
どちらかといえばそう思う	105	26.1
どちらともいえない	154	38.2
どちらかといえばそう思わない	14	3.5
そう思わない	18	4.5
合計(有効ケース)	403	100.0
無回答	98	
合計(全ケース)	501	

ｄ．障害のある人に特化した就労支援が必要である

	度数	%
そう思う	155	38.1
どちらかといえばそう思う	135	33.2
どちらともいえない	101	24.8
どちらかといえばそう思わない	9	2.2
そう思わない	7	1.7
合計(有効ケース)	407	100.0
無回答	94	
合計(全ケース)	501	

問 4 1 白山市の人びとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。

	度数	%
記述あり	95	19.0
記述なし	406	81.0
合計(有効ケース)	501	100

問 4 2 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの 1 ～ 6 の中から、**もっとも**重要なこと、**その次に**重要なこと、番号を回答欄のなかに記入してください。

もっとも重要なこと

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	113	27.2
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	146	35.2
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	85	20.5
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	5	1.2
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	21	5.1
障害のある人をケアしている人を支援すること	45	10.8
合計(有効ケース)	415	100.0
無回答	86	
合計(全ケース)	501	

次に重要なこと

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	29	7.1
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	74	18.2
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	96	23.6
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	17	4.2
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	61	15.0
障害のある人をケアしている人を支援すること	129	31.8
合計(有効ケース)	406	100.0
無回答	95	
合計(全ケース)	501	

問4-3 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a. ～fのそれぞれについて、つぎの1～5の中から最もあてはまる番号1から5をつけてください。

a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う

	度数	%
そう思う	183	42.3
どちらかといえばそう思う	78	18.0
どちらともいえない	91	21.0
どちらかといえばそう思わない	34	7.9
そう思わない	47	10.9
合計(有効ケース)	433	100.0
無回答	68	
合計(全ケース)	501	

b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ

	度数	%
そう思う	224	52.6
どちらかといえばそう思う	120	28.2
どちらともいえない	68	16.0
どちらかといえばそう思わない	8	1.9
そう思わない	6	1.4
合計(有効ケース)	426	100.0
無回答	75	
合計(全ケース)	501	

c. 「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある

	度数	%
そう思う	90	21.7
どちらかといえばそう思う	87	21.0
どちらともいえない	158	38.1
どちらかといえばそう思わない	27	6.5
そう思わない	53	12.8
合計(有効ケース)	415	100.0
無回答	86	
合計(全ケース)	501	

d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ

	度数	%
そう思う	77	18.3
どちらかといえばそう思う	64	15.2
どちらともいえない	159	37.9
どちらかといえばそう思わない	64	15.2
そう思わない	56	13.3
合計(有効ケース)	420	100.0
無回答	81	
合計(全ケース)	501	

e. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ

	度数	%
そう思う	126	29.9
どちらかといえばそう思う	125	29.7
どちらともいえない	116	27.6
どちらかといえばそう思わない	33	7.8
そう思わない	21	5.0
合計(有効ケース)	421	100.0
無回答	80	
合計(全ケース)	501	

f. たとえ負担が大きくなっても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい

	度数	%
そう思う	133	31.2
どちらかといえばそう思う	133	31.2
どちらともいえない	130	30.5
どちらかといえばそう思わない	20	4.7
そう思わない	10	2.3
合計(有効ケース)	426	100.0
無回答	75	
合計(全ケース)	501	

問 4 4 政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a. ～e のそれぞれについて、つぎの 1 ～ 5 の中からもつともあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

	度数	%
そう思う	258	59.9
どちらかといえはそう思う	82	19.0
どちらともいえない	68	15.8
どちらかといえはそう思わない	13	3.0
そう思わない	10	2.3
合計(有効ケース)	431	100.0
無回答	70	
合計(全ケース)	501	

	度数	%
そう思う	214	50.7
どちらかといえはそう思う	125	29.6
どちらともいえない	72	17.1
どちらかといえはそう思わない	6	1.4
そう思わない	5	1.2
合計(有効ケース)	422	100.0
無回答	79	
合計(全ケース)	501	

c. 政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ

	度数	%
そう思う	116	27.6
どちらかといえはそう思う	88	20.9
どちらともいえない	163	38.7
どちらかといえはそう思わない	31	7.4
そう思わない	23	5.5
合計(有効ケース)	421	100.0
無回答	80	
合計(全ケース)	501	

d. 政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せるべきだ

	度数	%
そう思う	85	20.0
どちらかといえはそう思う	102	24.1
どちらともいえない	189	44.6
どちらかといえはそう思わない	20	4.7
そう思わない	28	6.6
合計(有効ケース)	424	100.0
無回答	77	
合計(全ケース)	501	

e. 政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ

	度数	%
そう思う	210	48.7
どちらかといえはそう思う	119	27.6
どちらともいえない	82	19.0
どちらかといえはそう思わない	9	2.1
そう思わない	11	2.6
合計(有効ケース)	431	100.0
無回答	70	
合計(全ケース)	501	

問 4 5 差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a. ～ f のそれぞれについて、1 ～ 5 の中からもつともあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

a. 差別について深く知ることによって、差別をなくすることができる

	度数	%
そう思う	151	36.0
どちらかといえはそう思う	113	26.9
どちらともいえない	116	27.6
どちらかといえはそう思わない	19	4.5
そう思わない	21	5.0
合計(有効ケース)	420	100.0
無回答	81	
合計(全ケース)	501	

b. 差別される側の気持ちを考えることは難しい

	度数	%
そう思う	108	26.5
どちらかといえぼそう思う	147	36.0
どちらともいえない	99	24.3
どちらかといえぼそう思わない	23	5.6
そう思わない	31	7.6
合計(有効ケース)	408	100.0
無回答	93	
合計(全ケース)	501	

c. いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある

	度数	%
そう思う	61	15.0
どちらかといえぼそう思う	84	20.6
どちらともいえない	207	50.7
どちらかといえぼそう思わない	23	5.6
そう思わない	33	8.1
合計(有効ケース)	408	100.0
無回答	93	
合計(全ケース)	501	

d. 差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない

	度数	%
そう思う	33	8.0
どちらかといえぼそう思う	45	10.9
どちらともいえない	160	38.7
どちらかといえぼそう思わない	69	16.7
そう思わない	106	25.7
合計(有効ケース)	413	100.0
無回答	88	
合計(全ケース)	501	

e. 差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ

	度数	%
そう思う	61	14.6
どちらかといえぼそう思う	88	21.1
どちらともいえない	182	43.5
どちらかといえぼそう思わない	36	8.6
そう思わない	51	12.2
合計(有効ケース)	418	100.0
無回答	83	
合計(全ケース)	501	

f. この世の中で、差別がなくなることはない

	度数	%
そう思う	215	50.1
どちらかといえぼそう思う	107	24.9
どちらともいえない	84	19.6
どちらかといえぼそう思わない	5	1.2
そう思わない	18	4.2
合計(有効ケース)	429	100.0
無回答	72	
合計(全ケース)	501	

問 4 6 あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
とても低い	62	13.7
やや低い	129	28.5
どちらともいえない	226	49.9
やや高い	34	7.5
とても高い	2	0.4
合計(有効ケース)	453	100.0
無回答	48	
合計(全ケース)	501	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

	度数	%
記入なし	396	79.0
記入あり	105	21.0
合計(有効ケース)	501	100.0

障害福祉に関する意識調査(身体障害のある人) 記述回答一覧	
※ 同一文言による回答は一つのみ記載した。	
問39 (3)	障害に関する差別についてお聞きします。あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えください。
解雇 (会社員)	
足の手術を受け様と会社で報告した所、予定日は急がしいので日を変えないと解雇すると告げられた。足が痛くても死ぬ訳じゃないからいいだろうと言われた。	
症状を上手く、伝えられず、医療側から誤解を受けた事がある。問診表を書くのが苦手である。	
抗がん剤の副作用で現在も5年近くなるのに手足のしびれが直らない。	
障害の為体、頭が一般の方と混ていけないくらい家に閉じ込めることが多くなりました。	
階段を上る時に手摺が必要である体なので、手摺がない階段があった。また、出来れば両側に手摺を付けてほしい。(乗降り降りするために)	
足が不自由なのですがが見からは安易に分らないため障害者用駐車スペースを使用する際、非難されることがあります。障害者＝特徴的な外見や所作をしている、と思っている方が多いように思います。	
・会合で食事となっても、和式トイレの場合があり、安心して参加できない。・駅内が広く、長く歩行しなければならぬので苦痛となる	
私は建設機械の重機のオペレーターでしたが、●●を受けてからは、建設現場の受け入れ、(入場)が限られて、仕事ができません	
文化活動のところで、私は、車イスなのですが、話すことも人の話す理解もできます。が、障害者というだけで、仲間に入れず一人寂しい思いに家路に着きました。その日は、隠れて、涙を流し、止まらない。	
・大型商業施設にてエレベーターを降りる時でした。中年の男性に、外出するなど言わんばかりに一言ありました。(車椅子での外出時)・タクシーをよく利用しますが、障害者の1割引きを手帳を出して言いがかりです。一言もない運転手さん、又一応割引きしていただきますが面倒くさそうに手帳も見ない運転手さんこちらでも手帳を出す時出さない時いろいろいます。タクシーに、車椅子をつんだり出したりいろいろ対応に出会っています。	
障害を隠して面接に行き、いざ障害の話をすると差別ではないが、内定をもらった事がない。だから障害を隠す。	
必要以上に気をつかわれる。	
障害への理解が無い事で、奇異なものを見る様な目や影口があった。家族や外(周囲)どちら共に。人目を気にして引きこもる原因ともなった。	

昇給制度や業務中に死亡した場合の見舞金の金額の違いなど。障害があることは人として価値が下がることなのか?と思われた。これは明らかに差別だと感じます。制度の差別などなくとも、職場の人々から必ず暗黙の差別はあるのに。	
それくらいは甘えないでしたらどうだという態度を感じた。	
・病院や役場で名前呼ばれたのがわからなかった時不在として次の人が、・議会の傍聴を申し込んだ時「あなただったら聞かせませんよ」と云われた。・免許センターは窓口1〜更新免許証が手にする迄すべて呼び出し電光掲示板になりましたか?	
車に車イス?シールをはってないで障害者と思われず、障害者用駐車スペースに車を止めた時、度々、ガードマンなどに文句を言われる。普通に歩いているから障害者ではないと思われる。めんどくさい。全国共通の駐車優先シールでも作って、市役所でくばってほしい。血圧が上がる。	
他人に直視される。振りむかれる。	
健康な人を待たせる時にいい顔をしていない人がいる。	
タクシーに乗る時、タクシートの運転手に歩行車をトランクに乗せてほしいと頼んだら、「面倒な客はいやなんだよ」と嫌味を言われた。私(娘)が一緒だったので、私は「ではけっこうです」と言っでそのタクシーには乗らなかった。(代筆)	
社会保険から一国民健康保険にかえる時に1、2まわっていったらいまわし人による?	
自分の意志が伝えられないので家族以外他人の中ではすべてカヤの外にやられがちです	
あんたの車にマークが、ついているな あんたは、身体障害者やろ。頭を低くしておれとの事。	
時刻表、メニューなどの文字が見にくい	
子供の時、いじめられた。	
・スーパー等公共の場でのアナウンスがきこえない。・公共の場での災害時等の緊急サイレン・アナウンスがきこえない。・病院、入院時、手話通訳がないため医師や看護師の話がわからない。	
・バスや電車は車椅子が使えない。・民間サービス業ではバリアフリー化されていないかったり、上階へ昇る際のエレベーターがなかったりする。	
・心臓病が移ると周りから言われた。・高校の学校長が全校生徒に「爆弾をかかえている(病気の症状が重い為)ので、近づかないで、と紹介した。・疲れているのに、怠けていると言われた。・障害年金の認定基準が曖昧で行政の担当者並び(認定医も)理解不足だったので、苦勞して困った。	
自分はベスメーカー入れています でも他人には、わからない様うにしています 裸に成ると風呂屋に行くへと変りますよね	
面接に行く前に一方、障害があると云ってあっても、実際面接時になると、けがになったら保障はできないとか、公的機関においては頭から出きないときめつけられた。公的機関では面接管があらかじめ態度で示された。(顔なじみの人だったので)	
耳が聞こえにくいため何回か聞きますと笑って行ってしまう	

買物を車椅子等で行くと同じと見られます つらいですよ
65才以上の起業について補助や融資はJ Aや銀行ではできず自力で借金でしかない。私の場合、農業（野菜）によるそう菜業を始めた。資格があるので
ケガで病院にかかった時、障害者かと言われ、特定疾患ですと言うと障害者の上だと言われ、障害者手帳をもらう事にしました。
差別されたことは一度もない事はないと思いますが、本人からは聞いたことはありませんので、問37は「2. ない」を選択しました。
リストラで健常者の方は解コされました。障害者のほうが時給が安いからです。その後、負担はふえましたが、時給は下がりました。
昇進の極端な遅延
指を切断してから、給料が減った
公立中学校生活で一部の生徒からのいじめ（先生も見えて見ぬぶり）
・診察をこわがったため、即中止され診察をうけられなかった。・何か失敗があると「身障者では…」と言われる。
地域の学校で補助の為に人員確保が出来ず特別支援学校への転校をした事。肢体不自由児や、多動症児には先生やボランティアが補助に入っていたが息子には叶えられなかった（学校に要望するも）
仕事をしている時、なぜ早く出来ないんだ、重い物を移動できないんだと言われる。
点じぶろっくのありすぎ
金沢のハローワークで、私が総合失調症だと分かると、白山のハローワークに行って下さいと言われた。あまりにかかわりたくないという感じがたつたわり悲しかった。
後ろ指をさされる事が多い

問 4 4 白山市のひとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。
私自身障害者としての認識がないので有効な方法は、わからない。
色々な障害がある事を知らしめる。内しっかん、外しっかんとも！
体験談の発表
・地区別懇談会の様な会を行ってみてはどうか。・公民館主催の文化祭に作品展示を促し、コーナーを設けて展示作品を希望する人があれば受取って貰うといった社会参加の積極性を養う。
個人的見解として、当事者でないと理解出来ないと思う。なってみないとわからない
フェスタ等を開催してコミュニケーションを図る
命を大切にする教育。元気な人もそうでない人も全てそうなる可能性があります。それぞれの立場で生かされていることを思い、自分だけは違うというおごりをすて、皆で協力助け合って人生を歩むことが大切。
障害のある方の公民館等の利用促進 1．娯楽参加促進 2．趣味等参加促進 3．障害者の利用出来る用設備促進
知らないが。介護車、T E Lしたら（予約 前持って）病院への送迎
小学校時代から車イス使用障害者を分けないで、授業を受けたりしても良いと思う。幼小から障害のある人と接する事で差別せず、理解してもらええる環境ができると思う。（昔で言う知恵遅れ等は授業が進まない恐れもある為分ける必要があると思う）
障害者手当をもうける
私自身障害者になって始めて分りました広める為の方法がわかりませんが気軽に行って話し合いや軽い運動の出来る場所がほしいです。白山市に健康保険センターがありますが小敷の方とボランティア方一名いますが中に入っていけませんでしたので3回行ってやめました。病氣された方は抱擁力がありませんでボランティアの方は難しいと思いました。
施設の利用時及び障害者の歩行時には、健康な人達は配慮を考えてほしい。（障害者は、このような事でこまっていますなどを書いた書面を、健康な人達に書面等で周知してほしい。）（健康な人達は、障害者の方々が、どのような事を思っているのかを分かっているかと思う。）
マニュアルはあくまでマニュアルで、本当の事はそれ以外でおくる！
学校、職場、各種コミュニティの中の活動を、障害者も入れて、いっしょに活動する機会を増やす。各種イベントで、模擬障害者体験ができる機会をもつて、障害への理解を深める。
白山市になって10年近くたちますがまだ旧鶴来町の方が良いし交流にも平日が多くどちらかと言えば高齢（65才以上）の人が多く参加したくない事もあります 福祉課の人はもつと窓口に行ってもいろんな無料施設等をおしえてほしいです。
障害のある家庭特に老々介護者宅にもつと市、民生委員等が訪問し様子を見に来るべきだと思う 殆んど来ていない
交通機関が余りに利用者の為になっていない ダイヤの組み方運行経路などもっと考慮してほしい
バスの待合場 通院バス

私は29歳から60歳定年まで金沢市内の百貨店で勤務させていただきました。障害者も普通の人…30年間勤務できたのは普通の人として扱ってもらえたからです。婦人服の販売でしたが大阪の会社の方々また、百貨店の方々の協力、理解のたまものだと思います。障害者は普通の人には劣るというのではなく普通の人にはもっていない部分がたくさんあると言う事です。そういうチャンスを是非あたえてあげて欲しいと言う事が大切だと思います。
障害者に対して私は金沢市転出して白山市民となり7年となりますが一度も行事がありませんでした。金沢に居たところゴルフなど一年間でも何回もあって友達が出来ました。車椅子の人もびっ子の子の人も皆んな人間らしく笑って付合する機会でした。白山市はそれが少ないです。もう少し考えて計画を立ててほしいと思います。
民生委員とか社会福祉協議会の方々がいらっしゃるのに、会議とか、よく有りますがどうゆう事をしているのか 民生委員の仕事他知らないで町内他に1年に1回ほど説明場所をもうけ、意見交換などがあれば良いと思う。(障害人の方だけでなく)
障害者及びその介助の家族が、外出しやすいように利便をはかっていただきますし世の中へ出る機会を増やしていったらと考えます。又子どもたちの交流が、いろいろな機会を利用し提供いただけたらとも思います。
幼少期より障害者を理解できるように機会があれば良い。ボランティア等により体験する役所の方は障害者の人々にとって親切なので助かります。書く事がわからない事は丁寧に教えてもらって迷わずわなくて安心して市役所へ行かれます。難を云いますと足のない方にはバスの便が一寸不便かと思いますが。松任中央病院もバスの便が一寸不便があります
障害への理解が必要かどうかが私には分かりません。時、場所、状況に応じて、相手に応じて、等のケースによってという事の方が大事かと思えます。全ての方が、障害に対して理解しなければいけない、多くの人に理解を広めなければ…という事自体、違う気がします。
わかりません
日常でも両膝を曲げての生活は困難ですが障害者としての扱いをされた事が無い為今の所、よくわかりません
障害のある人となない人が支えあって暮らす共同住宅のようなものがあったら良い。
障害の程度の差があると思いますが、現在よりも上が望める競技や、ゲーム、IT等の一歩前進プログラムを立上げるべきだと思います。それが喜びとなり、友達を作ったり、自立心が出て来ると思う。NPOやボランティアに対する尊敬を学校教育からスタートすべきと考え
障害の無い人は障害者が唯、甘えて居ると誤解されて居る。もっと理解して頂く為に、福祉大会（地域の）等でギジ体験出来る様な場を作って貰いたいです。
障害がある人への配慮は人によって、必要な事柄が違うのでむずかしい。もっと一般的に年を取れば不自由になってくるので全ての人で親切にふれながら生活できるように支援を考えて、一般行政に組入ればよい。障害者に特化してではなく
各店舗の前に障害者用の車停めの少ないことと、健康者が無視して停めることに非常に腹立たしいかぎりである 白山市民にはもっと理解してもらってほしい。白山市には法、条令制定し、罰則もきめてほしい

中学生以上ぐらいいの全市民に、自分の都合に合わせて参加・訪問できるボランティアデー（様々な年齢層や障害を見て触れて知る場） みたいな機会の整備
わからない
障害者も、自分の障害には理解があるが、他の障害については、知識がないので、障害それぞれの理解を深めるには、紹介してもらわないと、わからない。
公報はたくさんなどを利用し、障害者の団体、活動等を紹介する等、見える方法としてはどうか？
例えば、健康センター松任の障害者用プール？を予算が厳しいからと中止の方向に向けるのでなく、利用料を少しでも集金する方法で継続する。高令者も増々、多数になるので、健康増進の為、窓口を開放する。障害者も高令者も共に健康upへ。障害への理解を深めるには、特に幼児期からの教育と共に（健康児も、障害児も）大切に遊ぶ中から学べると思えます。その指導を専門的に行なえるスタッフが必要でしょう。
障害者手帳（1級）を交付されたばかりなので今後とも各段にわたり理解を深めて考えていきたい。
障害は障害ではなく、特色であるということを理解してもらいたい
公共場所の設備の充実
障害者だからと云って手厚くされたいとは思わないが、普通に皆さんと接されたいらしいなあと思う。馬鹿にされると困る。
もう少し障害者の方に進められたら入られるのでは無いでしょうか？
白山市の場合は他市町村に比べて、理解は深いと思います。これは合併前の松任市時代から、長年にわたって徳田茂さんと仲旧の方達が市に現状を訴え、改善を要求してきた結果だと私は思います。ですから市は割合に温かいです。有難いです。移動支援事業があるのですから、できるだけ外出して、先ずは世間の方たちに知ってもらうことからです。
行っているかもしれませんが、障害者普及政度を設けて、この政度に企業が合意したら助政金を出す。障害者に優しい道路や設説を造る等
障害のある人を特別視しないであたたかい眼で静かに見守ってほしい
子供達に障害者とふれ合う機会を多く提供していく。ただ、障害という言葉を強調しすぎないことが重要で、個性を尊重するというニュアンスの視点で理解を求めた方がよいと思う。
・便の袋をつけている為、銭湯に入りづらい。家族風呂の割引があったらいいなと思う。
1. イベントの開催 2. コウエン会の開催
地方自治体が母体となって各障害者の人々に献じた事業所の運営施設があれば良いと思う。色々な障害があるので障害に応じた作業所が必要と思うが…。
健常者自身がゆとりの無い生活をしていることの多い中で健常者に支援やボランティアを求めてもなかなか精神論だけでできるものではない。皆さん時間がない。労働時間の短縮、元氣高令者の活用を図る。
市は「障害のある人もない人もみんな一緒」ですよと呼びかけて欲しいです。その上で一緒になれるように、各種の障害の不都合な点を改善して欲しいです。
施設等利用にもっと他市町村並のえん助が必要と思う。

身体障害者手帳を交付され、はじめて障害のことを考え、気づいたことがたくさんあります。障害と一言で言っても疾患の種類などで様々です。まずはいろいろな障害があることを知ってもらったことが一番だと思います。種類の違う障害なので、支援も様々です。又、少し関係ないですが、初めて手帳を交付されたとき、非常にショックを受けたのを今でも覚えています。障害者という言葉もどうかと思いました。何か、普通の人ではなくなったような感じさえ受けました。
市民に対して啓発以外ない。
障害者障害者と一言わず思わず皆んなが同じ気持ちで接してほしい
・障害をテーマとしたテレビドラマ等の放送（有名人気俳優が主役を務める）・地区ごとに障害理解のための啓発講座を行なう。・バリアフリーや筆談で対応する等、障害者に対して、配慮のあるお店等にステッカーを貼る。
白山市のしゅさいで障害の種類などに関するセミナーなどを聞く。
役所の中にもっと障害者に対しての対応と質文等を、軽く受けてくれる人材を置いてほしい。障害にもっと〜と発信してほしい。
・バスなどの席をゆずってくれない。・スーパー、デパート等、店などを含め、トイレが和式が多いため困る事が多い。・人に対して無感心の人が多い様に思う。
・公報等で毎月なげ障害者支援が必要か啓蒙する。
・内部障害者への理解を深める為に、もっと学びをする機会を増やして欲しい。白山市以外の自治体にも希望する。・入学・進学・就職・日常生活等の支援と理解をして欲しい。
年に一度排水口の総人夫が有り、欠席すると罰金を出します。そのような時、涙が出ます。
白山市には広報があるように医療、福祉とも連携して紹介するのはどうでしょうか。障害の程度や個々の考え方、家族によって障害を隠す場合もあります。必要な援助があると解ければ、利用したいと思うかもしれません。
白山市の町内会で障害者の状況等のビデオ化して、皆さんに見てもらい理解してもらおう。
公的きかんに、手伝できる様子を割当ては
市内の取組み企業の紹介や課題、改善方法を広く周知する。
駅の階段の横にエスカレーターを付けてほしいです。上る下るのエスカレーターが必要で。特に美川駅です。人口が少なくても足腰の痛んでいる方はこまっています。必ず早く実現してほしいです。
自分がつづぜん障害者になったらどうするのどうなるのか、私の友達が15の時突然若年性糖尿で失明その3年後に足先…そして透折と何度も何度も心がおられます 生活習慣病には本当に日頃から気をつけましょう
町内の誘導等の支援体制づくりがない 私の町内はレクリエーションが1年に1度ぐらい 北成町内は1年に5〜6回ありましたよ 町内に1名ぐらいは民生委員いると思いますがたよりにならない民生委員は名前ばかりこまります。
本人が健康状態にもよりますが、外出できるようであれば気怪に出掛けられ利用できる施設（公共）道路（段差の少ない）所が、たくさんあるといいです。

家に閉じこまることなく、積極的に参加できる場を各地域に作ってほしい。
市の広報がよいと思う
外観からは障害の程度が分からないかも知れないので理解を求めるのも難かしいと思う。個人情報…等でとざされているが、もっと障害のある人も参加できる場所、イベント・他あった方がよい。
障害を持つている人、家族が多くの友達を作る事。積極的に集りに参加して自分の障害を知ってもらいと理解してくれる人も増えると思う
障害への理解ってなんですか？人それぞれ、見たまま感じたままで良いと思います。どう見られ、どう感じられるかは、障害者自身の行動で決まると 생각합니다。
高令になった時障害者の老人ホームの入所を優良してもらえたら良いと思います。
難しい質問です。有効な解は思いつきませんが、子供の頃から、社会的弱者を労る気持ちを育む教育の充実が必要と思う。
わからない あまり考えた事もない
障害者の人も、一般の方も、雇用側の方も、お互いに、理解を、広め努力しながら事を、進めると、良いと思います。
幸い私自身のまわりはととても理解がある方が多いです。
その人その人の立場にならなければわからない所が多くあると思う。最初に障害手帳をもらった段回で親切、ていねいに教えてほしい。
障害者との交流の機会を増やすなど、理解を得ることが重要であると感じている。
どこの人々に對しても、理解を広める事はとても困難だと思う。小さい時からの教育しかないではないでしょうか？
1 普通にあつかう。2 ジョジョ見ない。3 親切は有難いことですがほどほどに。
小さい頃に障害者と接する場をもつ。学校行事他で、子供がジョジョ見ることが多いので…
たすけ相の気持
広報等で毎回、障害に関する情報、記事を伝える事。
障害のある人と交流してみる。直接会わないとどういいうものか分からないと思います。
実際に障害のある人たちが集まって健康者の人々とふれあうイベント等を開催してどのようなサポートが必要かなどを理解してもらええる機会をもうける。
私自身、視覚障害が発覚した時、絶望悲感、悲嘆に陥りました。視能検査さんに寄り添われ、手帖発布に至れた時、守られた気持ちに。守り添う心を示せる心の教育が必要だと思います。
・子供（小学生）への教育。福祉施設へ訪問し、これだけ日常生活が大変な人がいるという事を体験する場がある良いのではないかとと思う。・公共施設の整備。特に障害者用駐車スペースに、健康者が堂々と駐車しているのを見ると、意識の低さを感じる。
一人になった時年金でホームに入れない
母は、ある程度の歳で病気が発症したので経済的な援助を必要とする事はなかったが、母子家庭だったので若かったら家族全員どうなっていたか考えると恐しいです。そういう方々のためにも、配慮お願いします。

国や自治体からの助成金をもっと多く出して、企業側に受け入れる対策が必要。また、障害者は自分のハンデンディは理解しているし、前向に考えている人が多いと思う。まだまだ考えれば障害者の出きる仕事はある。例えば通販のオペレーターなど電話での会話ではなく、ほとんどがネットでの会話である。これは聴覚障害者向きの仕事だ！

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

理想と現実のギャップがうまく表現出来ませんでした

私自身気持が楽感的な方であり、あまり深く考えないので答が障害者と違った答になった様な思う 結果を知る事が出来ますか？

私事ですが、自分は右手拇指に障害が有り工具や小さい道具の使用に不都合ですし、又傷の縫合部が引きつるので関節部の屈伸が不充分の程度ですから、ほとんどの事は、自分で出来ますのでアンケートの参考には如何かとも思います。政府や役所の、質品については自分の思いを答えさせて頂きました

正確な答えが出来たか（高令のため認知もあり）ご迷惑をおかけすると思いますが悪からず意見を区分しやすくするため、断定的が部分がありました。人も動物と同じで筋肉強食の心を持っています。しかし人間には心の痛みを感じることが出来ます。ともにわずかな人生を皆が生きている思いで助け合っていきたいものです。それが人間だと思っています。

今の私は、身体障害者手帳が4級ですから、これからは、どのように行っていくか、わかりませんが、今はこのアンケートは、あまり役には、たたないと思います。今は大変元氣でありますから。

正しく書いたと思いますが

障害の度合にもよりますが、障害を前に出しすぎる事も世間に甘える事になると思います。まずはどんな人でもどんな場合にも自分自身の努力と心がまえも生活していく上で必要なのではないですか。今の世の中あまりにも障害という言葉を重ねしすぎているところも有ると私は思います。それこそが「差別」だとも思いますし、甘えでも有ると思います。～

この調査結果で障害のある人もない人も、幸せな将来が来る事を願ってやみません。研究よろしくお願いします。お疲れ様です。H26.10.3記

障害者は力がないので最低の生活をするように手当をすべきである。

私の身体障害者手帳はミドリ色のカバーです。県によってちがうのですか？私は愛知県で取りました。

障害者手帳1、2級の方でも車運転出来、どこにでも自由に一人で行けることが出来る方なのにJ、Rは半額、付き添いの方も半額、車購入時補助金、車税金免除。3級だと運転は医者から止められた者（脳硬塞）でも病院に行くのも、どこに行くのも妻に乘せてもらっています。車の税金は必要ですJ、Rも本人だけ（一人ではどこにもいけないのに）車購入時も補助金ナシ不思議なことです。市役所の方いわく「この世の中の矛盾です」と言われました

障害には、本人だけでなく周りの人への支援がないととてもつらくその人達の体力、時間、収入等にも影響が来る。

本調査を実施していただき、ありがとうございます。障害者であるがゆえの、悩みや苦しみがあります。この調査をご活用いただければ、うれしいです。集計等が大変ですが、頑張って下さい。

ただのアンケートで本当のなにかわかるのか？

今日現在の状態で記入していますので後、何年後には体力も弱まりますので回答が変わると思います。
ただのアンケートで本当のなにがわかるのか？
3年前に障害者手帳の交付を受けましたが、1年後の再審査で、障害者認定が無効になり、現在障害者として認定されていません。
極簡単な質問があり、答えるににくいことも多かったです。仕事を広げてほしい、一律に障害者とならず、状況程度に応じた仕事ができるようなら、働く機会がもっとあるのではないかと思います。勤働さにより賃金が決定できるとよいと思いますが、評価がむずかしく、心身の状態により、その人にあった勤働さは個々異なり、むずかしいです。
白山市だけでは無いのですが運転免許証、パスポートは何年ごとに更新手続が必要な様に身障者の般等は何十も同じなのは変だと思っています。私は今の所自分で生活出来ますが年齢がいくたび自由がきかなくなる事もありますしなかなか医療機関で相談しにくく以前福祉課の人に手帳の3級から2級に出来ない事も相談したら一言で駄目ですと後私は寝具を使用しているのが新しくして欲しいと相談したらまだ大丈夫ではとの一言冷くかんじました 手帳の般等色の変更も見直す事も大事な事だともいいます。
自分の立場だけを考えると答えるべきか、その他の（自分と違った障害者）障害者の立場を考えた時回答に迷うことがあったと思う
私は4級ですが、すべての障害者は依頼心を捨てて人生に立ち向う強い心を持つべきと考えます。
本来の職務外にこのような手数料のかかる調査をされ、本当にご苦勞様です。研究会の皆様、ご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。
私は76才の老人です。働く事も出来まん。自分の事でいいです。もうすこし考えて意見を書えば幸いです
支援介護の必要がないから〇付が難しい これからです。
アンケート調査など必要だと思えますが地域などに出向いて生の声を聞いて地域に寄って違いなどが多くあると思うので参考にしてほしい
差別してはいけません、リハビリに行く施設での認知症の人達、私のような者とか分かれてリハビリのする場所があれば大変助かると思っています。
障害者及びその家族の生活がより一層暮らしやすいようにこの調査が生かされることを願っています。
障害者について考えてもらえることはありがたいです。ケアする家族についても考えてくれているアンケートであることで苦勞を理解してもらえているようにとてもうれしく思いました。今後もデーターや意見から色々対策がでて、よい方向にすすむようお願いします。
制度が変わっても、全てがうまく行くことはあり得ない。人は昔もこの先も、同じ事を繰り返して生きて行く。世の中の大半は、気持の問題で事が収まる。比の世の問題は、人々の心が現われた景観で、実体は何一つない。

障害者にたいする思いやりをもっと考えてほしい 問3 7で差別にまではいけないが、人の目が障害者に対してあわれみの目で見られる事が気になります。
障害には等級があります。見た目、日常生活では全く分からない障害〜明らかに分かる障害まで。等級というもので区分しているくせに“障害者”というひとくくりの扱いには納得いきません。それぞれに見合った待遇、対処が適切かどうか、きちんと考えてもらいたい。アンケートの中に、「障害のある人も障害のない人も“平等に”」とか“同じ”とかいう表現が出てきますが、どの程度の障害かということが重要ではないですか？苦勞しても何とか自分で出来る人〜少しのことでも支援が必要な人もいます。その大きな差をひとくくりにして、上記のような表現は、取りようによれば、障害があるくせに同等の扱いをされたいか？というような差別的表現にきこえます。「障害と医療・福祉」研究会なのであれば、もう少し配慮のある文言が作成できるのではないかと思います。たとえ軽度であっても、同等に扱われたいという風には思っていないのでしょうか？
1 障害者への福祉のあり方（上から目線）と、本人の満足度（下から）とは大きな離りがあると思う。2 単に物、金等があっても、精神的な不幸を抱えている人もあり、数値することが難しいと思う。3 このアンケートで次のアクションが取れるのが疑問が生じる4 障害者対策と、障害者を減ずる社会構築の両面から、アプローチしてほしい。5 このアンケート結果のフィードバックを希望します。（自分との乖離把握の為）（何かの公報等にて可）
・この調査を記入して見て、調査の目的がわからない。単に白山市が、調査、改善をしている様なパフォーマンズにすぎないのではないか。・障害者は一人一人環境、思考が違うと思うし、無理だと思っています。・私は障害者で65才迄福祉援助を受けて来ましたが65才を過ぎてからは介護保健に切り換わり、援助に制限が出たり、複雑になり、不便に感じます。・障害による介護等が、高令による介護かを区別してほしいと思います。・制度が複雑になるばかりで市役所の人等も短期で移動があり、非常に不便を感じます。・最後にこのアンケートが税金のむだにならない様、願っています。
障害者がすみやすい社会になるようお願いします
意識調査記入には千差万別の障害のある人がいると思いますので自分に当てはめて記入するか私にはこんな調査は参考にならないと思います。その人その人の障害に合った調査を考えてみて下さい。大変失礼なこと書きましたがおわび申し上げます。
説明、解説が多すぎて終りの方は疲れました。年寄りににはチョット無理なところがありました。
障害福祉についての調査記入は初めてだったので、いろいろの部門がある事を知りとても参考になりました。障害はあっても夢を持って生きたいと思いました
このアンケートは、本人に聞き取りし、施設職員が記入しましたが、ご高齢の方には大変難しいものが多く、「しらない」「わからない」の回答ばかりとなりました。今回対象者は、認知症等がなく聞き取り可能ですが、施設（老人ホーム）で高齢者には、向かないアンケートかと思れます。やはり在宅で生活されている方々の声の方が参考になるのではと思います。

障害者の情報等を、簡単に民生委員や町内会に、見せてもらいたくはありません。私の住む新興住宅地では、民生委員や町内役員は、持ち回りでやっていますのでいつのまにか町内ほとんどすべての人に情報が知られてしまいました。個人情報も何もあったものではありません。障害者とは、見てわかる障害の方と、内部に障害のある見てわからない人がいるのです。もう少しきめ細い配慮を望みます。
・なんか、ビントのズレた質問が多い気がする。このアンケートがなんの役に立つのか？疑問だ。
ノーマライゼーション 健全な人も、障害のある人も差別なく前を向いて、個々の持てる力を発輝し社会で生きられる。そして、互いに助け合いのできる社会を地域からと思います。
設問が長すぎるので、回答してくれる人（代筆も含めて）が選ばれるのではと思います。もっとシンプルで設問が少ない方が、回収率が高くなるのでは？（代筆者）
装具給付券を市より交付してもらっていますが、時々々の体調により若干装具が不足する場合があります。装具はかなり高価（１０００円程度）で出来るだけ長く使用しますが、もう少し補助価格（現在２ヶ月１７８００円）をＵＰしてもらえれば余裕をもって交換出来ます。
イスラエルやシリアの様にればそんな事云ってはいられません。
私は身体障害者５級（足、手がしびれるＣＩＤＰ）以前の会社で身体障害の１級・２級（ベーマーカー、他）でも普通に人と同じ様に仕事をしていました。仕事もできないのになぜ５級なのか、等級の基準が変わります。（医師は何歩、歩ける（他にも）から５級ですと）分りにくい事が一杯ありました。（質問の内容 自分にあってはまらない事など）
・人は体が動く限り自立すべきです（出来るだけ）・世間にあまえてばかりいると働く意欲が無くなりだめになります。
障害者に光をあてて、調査をしてくださるのは、とても嬉しいことです。感謝しております。私は肢体不自由者で誰が見ても障害者とわかり、助けを求めれば応じてくださいます。街なかにいると、「何かお手伝いできることありますか?」といった声かけをいただくこともあります。ただ精神障害の方や知的障害の方たちは理解してもらえなかったり、声をあげることができない方達もいらっしゃるのですね。最近が高齢者が増えて、皆が自分の行く末で自分達の問題として受け取り街なかのバリアフリー化が進み、あまり光が当たらない私達障害者も随分恩恵を受けています。社会の人達の心も弱者に対して優しくなっているように感じます。とても有難いです。いろいろ書かせていただきました。大変ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
「障害福祉に関する意見調査」に関して非常に述べ辛い事ですが、誤字がございましたので、読みづらく思います。「答えなくでも」という所や「直しがひどい」所がございました、誠に申し訳ございません。
・新威の為施設入院の明細は不明入院費等以外は不明
今の状態に対しての回答がしにくい項目がありました。お疲れ様です。
わかりづらい質問があり 正答できなかつた。

事故で障害者となって気付いた事は体の不自由な人はずい分我慢して生活しているのだなと思っていました。このようなアンケート調査は健常者にも障害を持つ人をどう思うか障害者とうつき合って行くか調査する事で社会が全体が良くなると思う。
アンケートには●●ですが白山市が障害者の住所、氏名を無断で第3者に提供したことは行政として問題がなかったかどうか検討すべきです。いろいろな人がいますから、マスコミや議会にクレームを出さないとはいえません。
障害者にとつていろいろな病気にかかり1年に何度も入院しなければならぬ時があるのですそんな時大室ではこまり個室にしなければなりません障害者が大病にかかると大変お金がかかります 夫婦2人の年金で生活しているのですがこまる時が多いです ケアセンターで一日過ごしてもお金がいります 娘は仕事に出ていて見てもらえません。障害者年金を今もらっていませんがいつかもらうことができるのでしょうか。
金沢市は年に1万円ほどの見舞金があるのに白山市は無い。タクシー券も少ない。白山市は福祉に力を入れてないと思う。
この調査問答は、障害の種類人によってかたよさると思う。各々の用語解説に書いてあるように、障害者別の問答が欲しかった。これでは目的がハッキリしないと思う。それよりも一番改善すべきことは、国、県、市、共に障害者支給給付金が、若い時は病院で払わず処理出来たのが、ある年令（60才か65才か？）になったら病院で支払いを、月毎に市役所の障害福祉課へ領収書をもって行き、3ヶ月後に口座へ振込まれるが、これが現在一番苦痛であり、これこそ差別であると思う。若い時なら良いが年令が行ってからは苦痛の何物でも無い。早急なる改善を要望する。市役所で何回言っても県が、県がとの答えばかり。年金生活なのに3ヶ月後の振込もおかしい。給付金をもっているのになかなか言えないが、絶対改善してほしい。
こういう調査は、もつとやっつてほしいです。世間様にわかつてほしいと思います。年金減り、税金上がり、住みにくい日本
特にないです。調査等には余りかんげない事です…点字ブロック等は少し問題があります。足の悪い人達は、ブロックですべったり、足がひっかかりたりする事があるので、全体的に考えてほしいですね。
障害の程度によって質問の内容が答えにくい点もありました。自分自身は現状では生活に不自由な事は少ないのですが、手帳を取得してから、年月もたち障害程度も悪化しています。先のことを考えると不安になりますが、なるべく自立心を持って社会生活に参入していたいと思っています。
今は自分で思っている事が出来ますのでこゝに記されている様な問いについて深く考えたことはありません。たいへん長くいたいと思っています。
とても緊張しました。何度も読み返して答えを出したつもりです。調査のお役に立てたら幸いです。
・質問の記載の仕方・返答の仕方がおかしいです。・特に「障害や差別について」の質問が失礼だと感じました。・健常者も障害者も同じ命を生きています。
質問の意味が理解出来ない所もあった。

・緊急時、避難（災害）等に関する意見交換が必要と思われる。実際の様な行動、必要品等どうするのか？各組織団体との、つながりがあるのか？社会福祉協議会、障害福祉課、民生委員、消防、警察、その他　・「HELPカード」は不自由児だけですか？大人（高齢者）わ必要ないのですか？白山市には、ない様ですが？・調査の結果をお知らせ下さい。お願い致します。何気なく毎日過ごして来ましたが、夫婦2人になりお互い65才を過ぎ、福祉医療にますます、お世話になる事と思え老老介護にならないように日々、元気に過せたらなあと思います。脳神経ため退院したばかりありあま深い考え居る事出来ませんので御免なさい　迷う問題ばかり、よく考える用語の問題ですね
障害者になって8年になります。市の福祉、サービスなどは今の所、満足しています。始めの頃は右片まひですが一諸に買い物、散歩したり楽しみもありましたが最近外出は病院の通院だけです。家の近くを散歩するのが楽しみです、きれいに道路はなっていますまだまだ段差が多く、不便な事もあります。
障害にも軽度と重度があると思うので今1つわからない部分があります。設問が理解しにくい面があり適切な回答が得られないのではないかと
現在の状況を基準にして回答しました。障害の程度が進行しつつ中、回答が変わってくると思います。
多くの人に助けをいただきたいながら在宅療養しています。本人の出来る事は自が呼吸のみですが、この調査に協力出来た事を嬉しく思います。家族代筆
突然送り付けられて困惑した。回答はするが、やり方がぶつづけではないか。
私は手が振るえて字が上手に書けません　御理解お願いします　交換神経の病気で
・現在老々介護で困っています。在宅介護料の支援を望みます。寝具のクリニングに関してですけど毛布などは、家庭の洗たく機で洗えますが羊毛のフutonは利用出来ずに綿のフtonだけですけですが時代には合わないサービスとなっています。改良する様に・・・この調査は現在の状態で書いたものですけど頭も体も日毎に弱わっていきますので心配の度合いが又変わって来ます。
国民年金を60才でもらい、65才で発病しました。障害者年金がもらえませんか　何んとかして欲しいです。
障害にも様々な方々がおられます。総合して考えになり質問にうまく答えられておりません。保護されるのが当然とは思いません。考え方を前向きに変えられるチャンスが行政からあると思うこともあります。まわりに求めるだけでなく、必要とされたいと考えます。お役に立てば幸いです。
難解で答えられない質問がある
施設職員が回答させて頂きました。ご本人様精神疾患あり、回答わずかしくわかる範囲で記入しました。不備あると思いますがよろしく願います。
多さんの設問があり、多少つかれました。
眠がわるいので大変つかれました

障害者は精神的苦痛が多なる事が大半で皆様にめいわくがかからないか不安な毎日を送っています。どんな事にも消極的になり、心のケアが重要だと思います。
大変良く出来た企画だったと思います。色々勉強させて頂きました。なかなかむづかしい面もありました。
障害者の理解、福祉の向上に役立てば幸いです。
障害者と同じ立場でない、その人の痛や苦しみは、わかりません。すべて人ごとです
障害の程度にもよるし、色々な考えの人もいるので間44、45はともむずかしい。
私は指先がしびれ感覚が有りませんが無差別にこのような書類を送りつけてくるのはどうかと思います　そのような事も孝りよして下さい
現在の障害と将来確実に進行するであろう障害とを考えた時にどちらに当てはまるのか悩んでしまいました。
大変遅くなり申し訳御座居ませんでした。
私にはあまり関係ない項目があり全部書けませんでした。
近くに入院できる病院があるといいです　リハビリ出来る場所
障害者にもいろいろあるので、最後の質問はむずかしい
当アンケートについて有り返答を書きたく有りません
めいわくだと思います。私も70才になりました。人よりも体は小さく（150cm-40kg）子供がいないため、体の限界は65才です。今、小池病院にいます。私達の事はテレビに写る時その他で写るのです。その為にめがねをかけ書くのはたいへんです。
返信が遅くなり申し訳ありません
視覚障害で（3級）、このようなアンケート回答は非常に苦しい作業でした。でも、最後までやり着けて喜んでいきます。ありがとうございました。
自分の障害の状況が今後どのようにっていくか…不安に思っている時に、この質問は、不安を増幅させ、一度ではできませんでした。（一応固定された時に判定を受けますが。早晚、新たに障害の事態になると聞いていますので。）どちらにもとれる解答を、どのように分析？結論づけるのでしょうか？結果をお教えいただけのですね？
私は、変形型股関節症で正座したり、ひざを曲げて座ったりできないし、歩き方も、足をひきずるようにしているが、ほとんどの移動は車であり、仕事もできている。自身は障害者を意識した事は生活する上であまりないが町内の草むしり等は参加できない。協力を払っているが、時々、疑問に思う。
回答の期間が短かすぎると思います。家族がわとして、障害に対する知識がなかったのも、当初困りました。分かりやすい様にして下さると助かります。
この冊子を理解している人に説明してもらえたらうれしい　わからなすぎ
遅くなって申し訳ありませんでした。